

日本語学会第 153 回大会 プログラム

会 長 窪 菌 晴 夫
大会運営委員長 佐々木 冠
大会実行委員長 江口 正

期 日：2016 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）

会 場：福岡大学（〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 8 丁目 19-1）

Tel/Fax: 092-871-6631（代） / 092-871-6654（大会実行委員長 江口正 宛）

E-mail: lsj16fukuoka@gmail.com

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

— 第 1 日（12 月 3 日） —

10:00－12:30	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	文系センター棟 4 階 第 4 会議室
12:00－	受付	A 棟 7 階 ホール
13:00－17:40	口頭発表 (詳細は 2-3 頁にあります。)	A 棟地下 1 階, 2 階, 4 階
18:00－20:00	会員懇親会	文系センター棟 スカイラウンジ

— 第 2 日（12 月 4 日） —

9:30－	受付	A 棟 7 階 ホール
10:00－12:00	ワークショップ (詳細は 4 頁にあります。)	A 棟地下 1 階, 2 階
11:30－12:50	ポスター発表 (詳細は 4 頁にあります。)	A 棟 7 階 A707
13:00－13:20	会長挨拶, 開催校挨拶 (福岡大学学長 山口 政俊), 日本語学会学会賞授賞式	A 棟地下 1 階 AB01
13:20－16:20	公開シンポジウム 「方言研究から言語研究へ」 企画・司会：江口 正 (福岡大学) ディスカサント：定延 利之 (神戸大学) 「条件文の時制とモダリティの意味論 一方条件形式「ぎー」を めぐって」 有田 節子 (立命館大学) [S-1] 「格体系を調べる方言調査票の開発・利用と問題点 ー九州・琉球 方言の事例報告ー」 下地 理則 (九州大学) [S-2] 「敬語体系の意味論・語用論 ー琉球与那国語の調査・分析の事例 報告ー」 山田 真寛 (立命館大学) [S-3] 「係り結びと疑問詞の量化 ー宮古伊良部集落方言の事例からー」 衣畑 智秀 (福岡大学) [S-4]	A 棟地下 1 階 AB01

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（12月3日（土） 13:00—17:40）

	A会場（A401） 司会：[1-2] 中谷 健太郎, [3-4] 杉岡 洋子, [5-7] 三宅 知宏	B会場（A402） 司会：[1-2] 新田 哲夫, [3-4] 下地 理則, [5-7] 渡辺 己
13:00—13:30	[A-1] 岩渕 俊樹, 幕内 充 文処理脳メカニズムにおける構造的距離と線の距離の処理負荷の分離	[B-1] 脇坂 美和子 滋賀県湖北方言の存在動詞と名詞句階層・アスペクト・待遇範疇
13:40—14:10	[A-2] トウ エン, カフラマン パルシュ, 広瀬 友紀 日本語の二重目的語構文の理解 —語順と名詞句の有生性の影響について—	[B-2] 青井 隼人 南琉球宮古多良間方言におけるピッチ上昇の記述
14:20—14:50	[A-3] 山内 昇 日本語における言い換え型の右方転位構文に関する考察	[B-3] 林 由華 南琉球宮古語池間西原方言における否定文の特徴と情報構造との関係性
15:00—15:30	[A-4] 東寺 祐亮 V スギル構文の解釈の統語的決定	[B-4] 呉 唯 自然談話における宮古島池間方言の <i>nyaan</i> について —使用頻度に基づく意味機能拡張の仮説—
15:30—15:50	(休憩)	(休憩)
15:50—16:20	[A-5] 林下 淳一, 後藤 睦, 金水 敏 日本語受身文の歴史 —除項ラレと加項ラレー	[B-5] 井上 大輔 聞き手の情報処理に対する話者の推測はフランス語接続法の用法にどのような影響を与えるか? — <i>le fait que</i> と <i>Pourquoi crois-tu que ...?</i> の後の叙法選択と関連性理論
16:30—17:00	[A-6] 中村 渉 日本語の願望構文における格付与	[B-6] 伊藤 創 日英語母語話者の事態の描き方の違いは事態の捉え方の違いの反映といえるか
17:10—17:40	[A-7] 富岡 諭 目的性従属疑問文の解釈と構造	[B-7] 吉永 尚 感情・感覚を表す擬態語の語彙特性についての考察 —擬態語動詞の観察を中心に—

	C会場（A403） 司会：[1-2] 松本 曜, [3-4] 茂木 俊伸, [5-7] 内堀 朝子	D会場（A201） 司会：[1-2] 千田 俊太郎, [3-4] 塚本 秀樹, [5-7] 沈 力
13:00—13:30	[C-1] Takayuki IKEZAWA Variable telicity of nonculminating accomplishments in Japanese	[D-1] 大久保 龍寛 分散形態論における複合語マーカー
13:40—14:10	[C-2] Lukas RIESER Pragmaticalization as functional bleaching and expressive enrichment	[D-2] 宮内 拓也, 伊藤 克将 デキゴト名詞句内における属格照合のメカニズム: ロシア語・ドイツ語からの検証
14:20—14:50	[C-3] 劉 吉香 格助詞「へ」で終わる新聞見出しについて	[D-3] 山部 順治 オリア語において、非情物主語が引き起こす、複文の統語的縮約
15:00—15:30	[C-4] 大江 元貴 談話における使用から見るいわゆる提題の「って」	[D-4] 黒島 規史 現代朝鮮語の逆条件を表す「副動詞 + とりたて」
15:30—15:50	(休憩)	(休憩)
15:50—16:20	[C-5] 浅田 裕子 等位接続の一般用法について	[D-5] 陳 学雄 漢語福清方言の使役構文 — “共” を用いた構文を中心に—
16:30—17:00	[C-6] 原田 なをみ, 高山 智恵子, 坊農 真弓 日本手話の条件文: うなずき型とロールシフト型	[D-6] 楊 雯洪 手続的意味による中国語談話標識「怎么说」の分析
17:10—17:40	[C-7] 松岡 和美, 矢野 羽衣子, 前川 和美 日本手話のモダリティ表現にみられる証拠性	[D-7] 飯田 真紀 広東語の文末助詞 <i>aa1maa3</i> の意味変化

	E会場 (A202) 司会：[1-2] 藏藤 健雄, [3-4] 田村 幸誠, [5-7] 堀江 薫	F会場 (A203) 司会：[1-2] 岡 俊房, [3-4] 越智 正男, [5-7] 佐久間 淳一
13:00-13:30	[E-1] 楊 沐藝 “Wonder is NOT want to know”: 埋め込み疑問節を取る動詞の再考	[F-1] 渡辺 良彦 英語の述詞関係節の意味機能について —不定先行詞の場合—
13:40-14:10	[E-2] 田中 英理 比較を強調する副詞の意味論	[F-2] 前田 雅子 動詞句削除部からの抜き取りに関する派生的カートグラフィ分析
14:20-14:50	[E-3] 前川 貴史 英語の名詞句内における特殊な一致現象	[F-3] 大宗 純 対併合の再定式化と不可視要素について
15:00-15:30	[E-4] 金澤 俊吾 英語における不可算名詞、可算名詞の文法化とその意味的特徴について	[F-4] 林 慎将 two-peaked structure に基づく非制限関係節の分析
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 森 創摩 スタイル副詞類として機能する if 節と挿入辞としての if 節についての考察	[F-5] 應地 晴香 古典ギリシア語における関係代名詞中性形の接続詞的用法とその起源
16:30-17:00	[E-6] 鷺野 亜紀 Let's における文副詞的用法及びその拡張について	[F-6] 山田 怜央 アイルランド語の所有文における譲渡可能性について
17:10-17:40	[E-7] 高橋 真理子 インド英語における general extenders の特徴について —内圏・外圏の他英語とのコーパスを用いた共時的比較分析—	[F-7] 田中 真一 イタリア語由来の借用語における母音長受け入れと位置の非対称性

	G会場 (AB01) 司会：[1-2] 品川 大輔, [3-4] 田中 真一, [5-7] 池田 潤	H会場 (AB02) 司会：[1-2] 林 徹, [3-4] 山越 康裕, [5-7] 内海 敦子
13:00-13:30	[G-1] 吉野 宏志 東クシ諸言語の converb について	[H-1] セバル・ディリック トルコ語における存在表現の文法化
13:40-14:10	[G-2] 米田 信子 バントゥ諸語の関係節に見られるマイクロバリエーション	[H-2] 江畑 冬生 トゥバ語との対照から明らかになるサハ語の規則性と義務性
14:20-14:50	[G-3] 中川 裕 コイサン音韻類型論：初期報告	[H-3] 山田 洋平 ダグール語の2種類の動詞否定形式
15:00-15:30	[G-4] 倉部 慶太 ジンポー語における有気音の無気音化	[H-4] 佐藤 暢治 保安語積石山方言の話し手は文が表す事態をどのように捉えているのか
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 中本 舜 ポボロカ語における重層的人称・数標示	[H-5] 岡本 進 フィジー語の接尾辞を伴わない他動詞
16:30-17:00	[G-6] 長渡 陽一 アラビア語エジプト方言の疑問詞の語順について	[H-6] 山本 恭裕 イロカノ語における空間的直示表現の意味分析
17:10-17:40	[G-7] 榮谷 温子 コーランのユースフ章における接続詞 wa- と fa- の使い分け	[H-7] 長屋 尚典 タガログ語のリンカー並行事態構文と節連結

■ワークショップ (12月4日(日) 10:00-12:00)

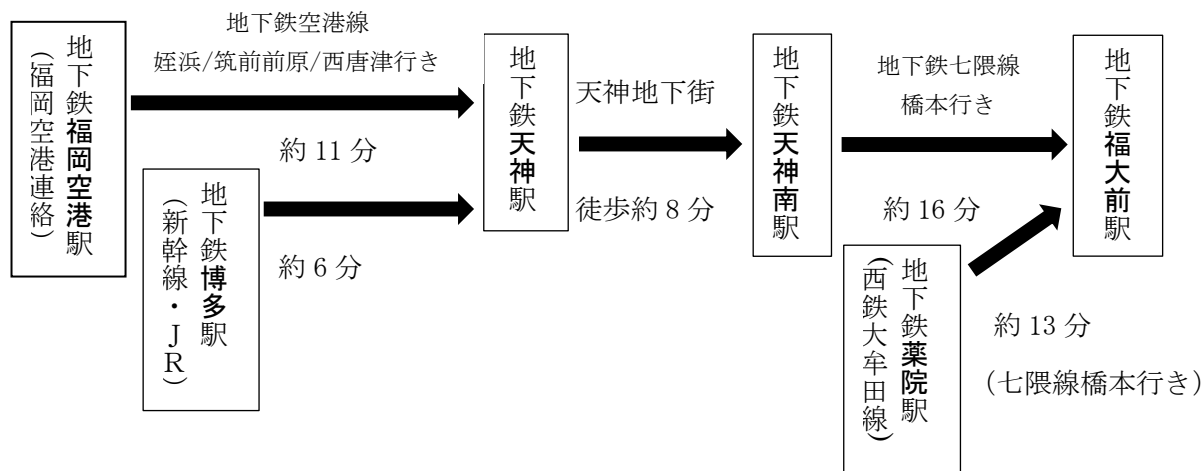
AB01	[W-1] 形態統語構造の音韻的外在化 企画・司会：時崎 久夫
	[W-1-1] 音韻論における回帰的併合 那須川 訓也
	[W-1-2] 音韻的外在化と解釈可能性 土橋 善仁
	[W-1-3] スカンジナビア語の目的語移動 — 統語移動が音声部門から要請される一例 — 細野 まゆみ
	[W-1-4] 名詞修飾の語順と音韻 時崎 久夫, 稲葉 治朗
AB02	[W-2] イントネーション研究の新展開 企画・司会：窪菌 晴夫
	[W-2-1] 音調研究の方法としての「置換反復発話」 — Warner (1997) の追検討 — 松井 真雪, ホワン ヒョンギョン
	[W-2-2] 長崎市方言における不定語を含む語・文の音調と複合法則 佐藤 久美子
	[W-2-3] 岡山方言のイントネーションの記述に向けて — 疑問文イントネーションを中心とした予備的考察 — 三村 竜之
A201	[W-3] 日英語比較統辞論研究の現在: 自由併合理論における移動と埋め込み 企画・司会：小林 亮一朗
	[W-3-1] 序論 小林 亮一朗
	[W-3-2] 日英語受動文の比較統辞論 小林 亮一朗
	[W-3-3] 相理論と埋め込み文からの繰り上げにおける日英語間差異 杉本 侑嗣
	[W-3-4] 難易文の統辞論と日英語間差異 永盛 貴一
A202	[W-4] ミニマリスト・プログラムにおけるパラメータの姿と働きについて 企画・司会：後藤 亘
	[W-4-1] 言語はなぜパラメータ化されなければならなかったのか 北原 久嗣
	[W-4-2] 形態音韻的要素が narrow syntax に与える影響 野村 昌司
	[W-4-3] 非相主要部の一般化と素性継承の新たな根拠：言語の普遍性を追い求めて 後藤 亘
A203	[W-5] 統語・意味解析情報付き日本語コーパスの構築に向けて 企画：プラシャント・パルデシ, 司会：吉本 啓, コメンテーター：福島 一彦
	[W-5-1] イントロダクション プラシャント・パルデシ
	[W-5-2] アノテーション方式とコーパスの特色 吉本 啓
	[W-5-3] デモンストレーション アラステア・バトラー, 窪田 愛, 窪田 悠介
	[W-5-4] まとめと将来の展望 プラシャント・パルデシ

■ポスター発表 (12月4日(日) 11:30-12:50)

A棟7階 A707	[P-1] 松井 理直 日本語の歯茎摩擦音に後続するウ音について
	[P-2] 團迫 雅彦 理由を表す <i>wh</i> 付加詞と補文標識「の」の獲得

研究発表会場（福岡大学）へのアクセス

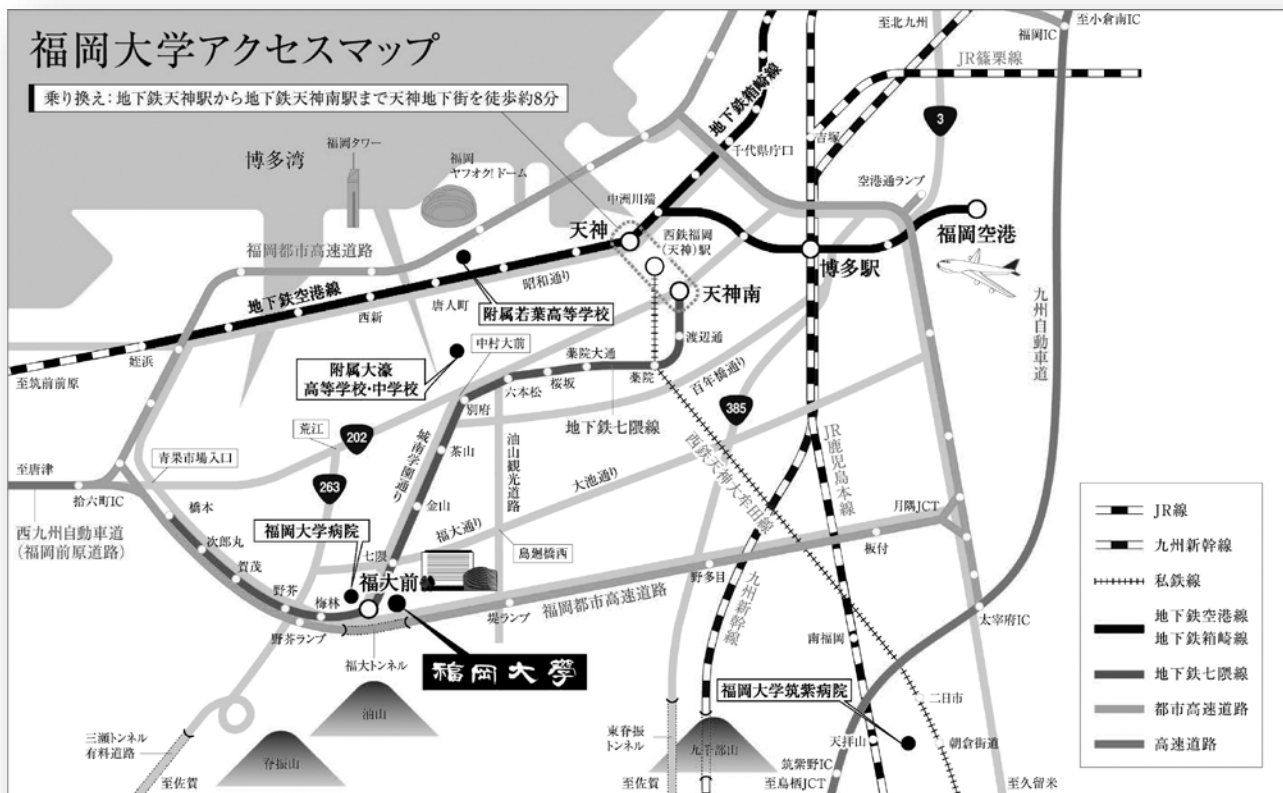
■福岡空港から（約 45 分）／博多駅から（約 40 分）／西鉄薬院駅から（約 13 分）



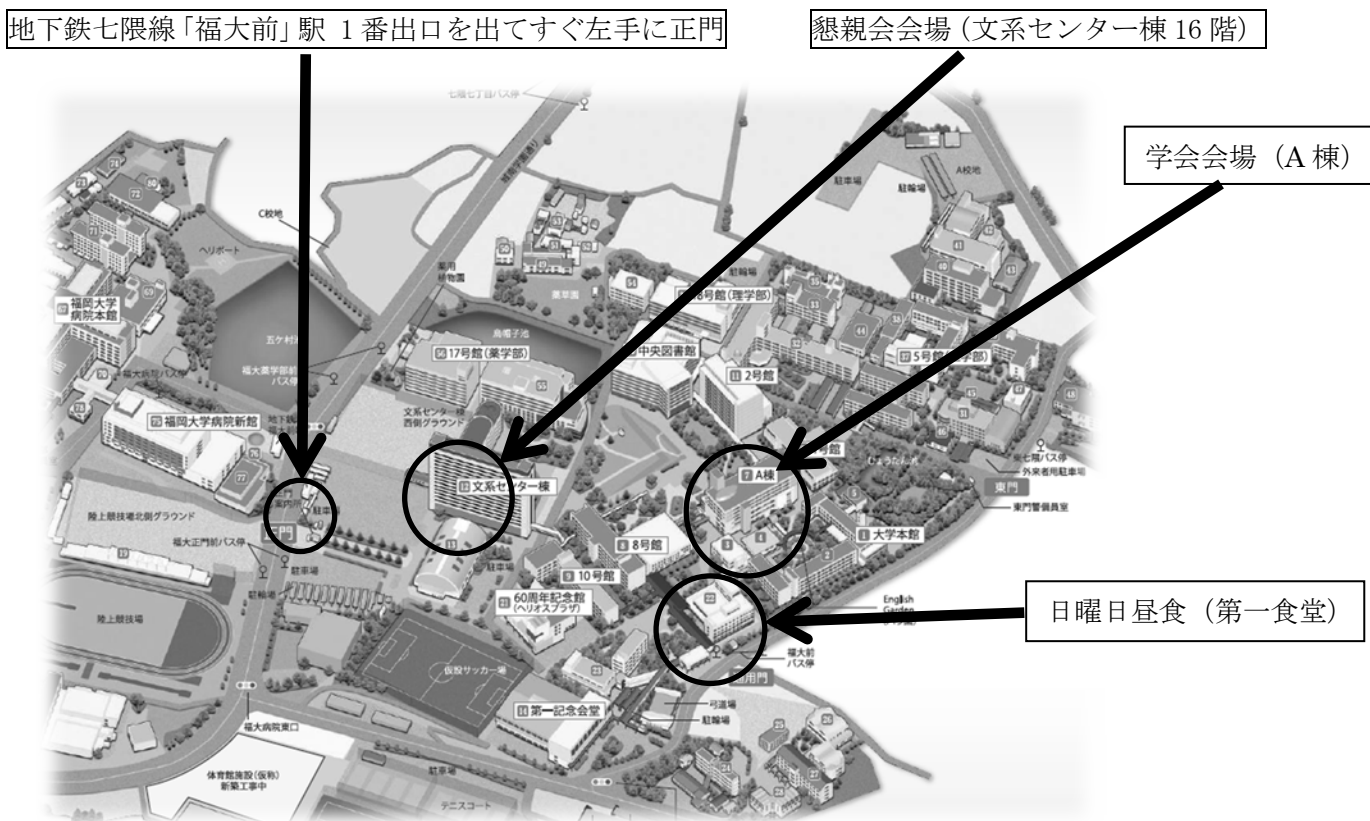
※土曜・日曜は地下鉄の一日券「エコちかきっぷ（520 円）」がお得となっております。

※駐車場および案内の都合上、自家用車やバス（西鉄バス）でのご来場はご遠慮ください。

アクセスマップ



福岡大学キャンパスマップ



事務局からのお知らせ

熊本地震で被災された方々への会費免除

平成 28 年熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。日本言語学会では被害を受けられた会員の方々に対して 2016 年度の会費を免除していますが、この支援を 2017 年度まで続けることになりました。熊本地震による被害を理由とする申請であれば、申請者の居住地は問いません。今年度の申請期限は 2017 年 3 月 31 日です。来年度は 2017 年 4 月 1 日～9 月 30 日の期間、申請を受け付けます。

免除を希望される方は、事務支局までご連絡ください。また周囲に被災された会員の方がいらっしゃいましたら、このことをお伝えくださるようお願いいたします。

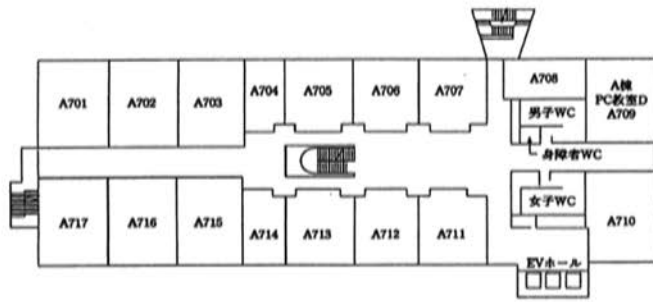
大会予稿集の PDF 化と大会参加費の改定（来年度より）

2016 年春より大会予稿集を PDF 化し学会ホームページに事前公開していますが、2017 年の春季大会以降、紙媒体の予稿集が廃止され、ホームページ上の PDF のみとなります。これに伴い、2017 年度より大会参加費を一般会員 2,000 円、学生会員 1,000 円とすることが決まりました（現行はともに 2,000 円）。なお、非会員の大会参加費は一般が 3,000 円、学生が 2,000 円となります。

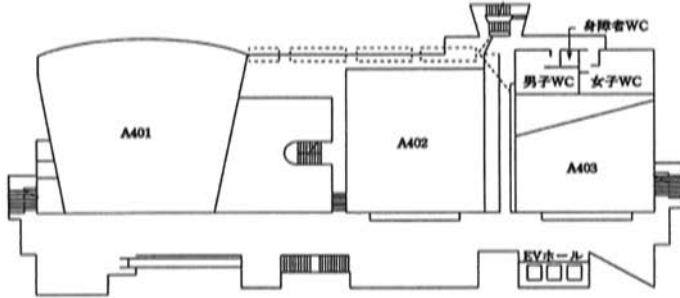
大会会場でのインターネットの利用について

第 153 回大会会場では docomo 他の公衆無線サービスが利用できます（サービスに加入している場合）。eduroam は利用できませんのでご承知おきください。学内 LAN の利用を希望される方は大会受付にお越しください（ただし電波がつながりにくい場所もあり、利用者数にも制限があります）。予稿集（電子版）をご利用の場合は、事前にダウンロードして来られることをお勧めします。

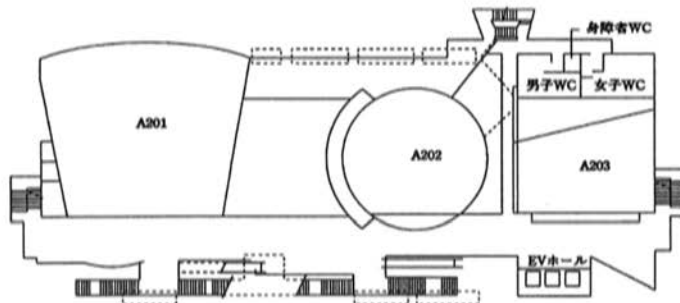
会場配置図 (A棟)



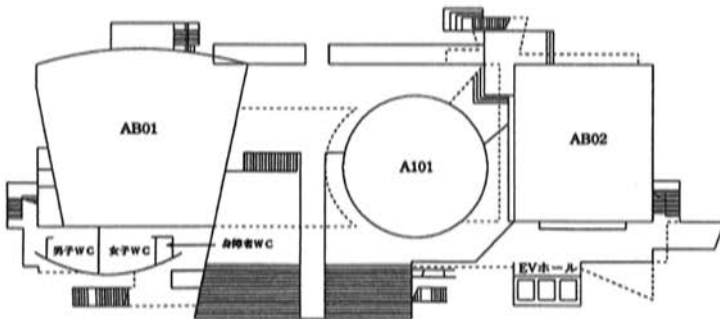
- A棟7階**
- A710 大会本部
 - A706 休憩室
 - ホール 受付
 - A707 ポスター発表
 - A711・A712 書籍展示



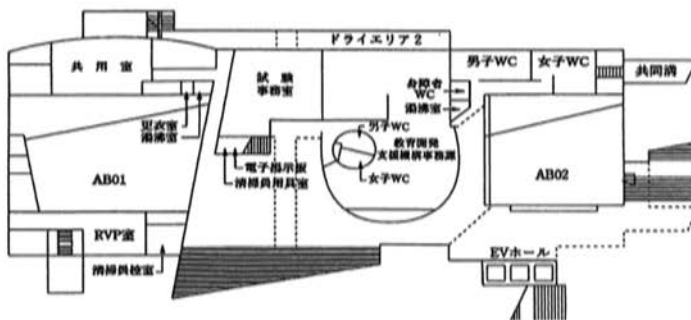
- A棟4階**
- A401 A会場
 - A402 B会場
 - A403 C会場



- A棟2階**
- A201 D会場/WS3
 - A202 E会場/WS4
 - A203 F会場/WS5



A棟1階 (会場はありません)



- A棟地下1階**
- AB01 G会場/WS1
シンポジウム
 - AB02 H会場/WS2

お知らせ

◆大会参加費と予稿集

大会参加者は大会受付にて参加費（2,000 円）をお支払いの上、名札をお受け取り下さい（大会中は常時身につけて下さい）。大会の1週間前より予稿集を学会ホームページからダウンロードできるようになりましたのでご活用ください。会場の一部で学内 LAN が利用できます（人数制限あり）。また今年度に限り、大会受付にて紙媒体の予稿集も配布します（大会前の予約・購入は受け付けていません）。

学会ホームページ：<http://www.ls-japan.org/>

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**10月28日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

大学内の食堂は、土曜は営業していますが、日曜日は「第一食堂」のみ利用できます。近くにはあまり飲食店はございませんので、第一食堂をご利用になるか、弁当をご持参ください。

◆会員懇親会の申し込み

会員懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月9日（水）**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：12月3日（土）12:50-17:50、12月4日（日）9:50-16:30
- ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は、**11月7日（月）**までにお申し込み下さい。（申込先：lsj16fukuoka@gmail.com）

◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。

◆書籍展示

書籍展示は、A棟7階、A711、A712にて行います。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

前回大会に続き、今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っておりません）。なお、大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込み下さい。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

次回大会予告（2017年春季大会：第154回大会）

場 所：首都大学東京南大沢キャンパス（〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1）

日 程：2017年6月24日（土）・25日（日）

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：**学会ホームページから発表申し込みができます。**

- ・発表応募締め切り **2017年3月20日（月）（必着）**
- ・採否通知 **2017年4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com